

科目	異文化理解演習(英語圏)	担当	SPetersen	履修学年	1年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	2単位
<p><b>【授業目標・到達目標】</b>  異文化を理解するためには、文献やメディアだけではなく、現地を訪問し、その国の文化や人々の生活、行動を見たり観察し、あるいはその空気に触れることが何より有効である。それ故に、このプログラムは海外でのスタディーツアー(実地研修)を含んでいる。異文化の体験と文化施設、企業見学により、現地事情の理解を深めて、国際の中における自己を知り、学生の国際観の醸成を到達目標とする。また、海外の提携大学の学生との親善交流も行うので、現地大学生と知り合うことができる。</p> <p><b>【履修注意】</b>  スタディーツアーの開催時期は夏休みと春休みの期間中に行う予定である。年度内の計画段階で参加者の募集が行われる。募集人数は20人以下とし、参加者が最低の人数に達しない場合には、実施しない場合もある。旅費や現地への渡航費などは原則的に自己負担とする。受講者は事前研修も含めて参加すること。</p> <p><b>【評価方法】</b>  事前・事後の研修と出席状況、レポート内容により、総合的に判定する。</p> <p><b>【試験について】</b>  実施しない。  再試験対象者の条件：再試験は行わない。</p> <p><b>【予習・復習】</b>  研修プログラム内容や訪問・見学先の背景などについて、事前に配布した資料や訪問・見学先のウェブサイト情報により予習しておくこと。現地研修後の資料整理や発表準備、レポート提出のための復習も行う。</p> <p><b>【教科書】</b>  なし</p> <p><b>【参考書】</b>  書籍名：『異文化トレーニング』著者：八代京子 他、出版社：三修社。その他、現地ガイドブック、講義プリントなど。</p> <p><b>【その他の注意事項】</b></p> <p><b>【授業計画・内容】</b></p>					